

# 広尾高校生がエゾシカについて学ぶ

2024/07/22 17:30



志村支部長（左）からシカの生態や駆除について説明を受ける広尾高校生

【広尾】広尾高校の3年生が16日、地元猟友会の関係者などを取材し、エゾシカによる農業被害や駆除の実態について理解を深めた。

同校の総合的な学習の時間。3年生が8グループに分かれ、さまざまなテーマで地域の理解を深めている。エゾシカ問題は及川琉陽さん、生天目美幸さん、松山遼さんの3人が取り上げ、調査している。

この日は町農林課の職員からエゾシカの被害状況について説明を受け、校外の草地に移動。道猟友会広尾支部の志村國昭支部長（町議）が、同支部では「巻き狩り」という手法で一斉捕獲を行い、市街地付近の被害防止につなげていることを解説した

駆除したシカ肉や角はジビエ、アクセサリーに活用されているが、大半は山林内で埋設されている実情についても理解を深めた。（能勢雄太郎）